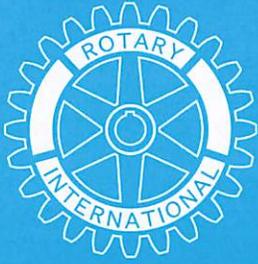


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 樫尾 富二
幹事 大谷 恩
広報・会報委員長 萩原 喜代子

No. 25

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

2015～2016年度

RI会長
K.R.ラビンドラン

今日の例会
第1580回 平成28年 2月2日(火)

優良従業員表彰

先回の例会
第1579回 平成28年 1月26日(火) 晴



節分例会
城山八幡宮 17:30

節分祈禱・追難式



◆奉仕の理想

◆ビジター紹介

◆ゲスト紹介

名古屋名城ロータリークラブ 会長 渡邊 博人様
米山奨学生 グエン チャンさん

★ビジター数(昼間) 69名

◆出席報告

会員 39(30)名 出席 20名

出席率 66.67%

前々回 1/12(修正出席率) 93.94%

◆米山奨学生 グエン チャンさんへ1月奨学金授与

大谷幹事報告

1) 2月のロータリーレート 先月同様
1ドル=120円です

舎人職業奉仕委員長挨拶



皆様こんばんは

本日は城山八幡宮をお借りしまして節分例会を開催致しております。節分の祈禱を吉田宮司ありがとうございました。また追難式、豆まきと無事終わりました。きっと皆様に福が訪れますよう、そして今年も良

い年になりますようお互い頑張っていきたいと思っております。この後どうぞ、ごゆっくりお過ごし下さい。本日はありがとうございました。

名古屋名城 RAC 渡邊会長挨拶



名古屋名城 RAC 今年度会長を務めております渡邊博人と申します。節分例会にお招き頂くのは今回で2回目になりますので、大変楽しみにしておりました。

遅ればせながら 明けましておめでとうございます。皆様はどのようなお正月をお過ごしにな

れましたでしょうか？

私ごとですが、昨年結婚致しまして、家族親族が増え、いつも以上に忙しいお正月を過ごしました。

次年度は RAC 地区代表という役職を与えられております。愛知県には9つの RAC がございます。その全 RAC をまとめて運営していく立場になります。

次年度も、皆様方のご協力をお借り致しまして良い年にしていきたいと思っております。RAC としては、特に奉仕事業に力を入れていきたいと思っております。「継続は力なり」という言葉がございますが、継続というのは大変な事ではありますがとても大事な事だと思っておりますので、次年度、次々年度に繋がるような活動をしていきたいと思っております。

本日はお招き頂きまして誠にありがとうございました。

櫻尾会長挨拶



節分祈禱、追儺式、豆まきが無事終了しました。グエン・チャンさんの巫女さんも素敵でした。本日は節分と暦のお話を少しさせていただきます。

節分は各季節の始まりの前、特に立春の前日と呼んでおります。

暦では2月3日になりますが神社

の行事でお忙しいとのことで、千種ロータリーの節分祈禱、追儺式を本日も行っていただきました。季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それを追い払うため節分の日に豆を撒く習慣になったとのこと。また、年齢のかずだけ豆を食べると厄除けになると言われていますが、お年の方は食べ過ぎてお腹を壊さないようにご注意くださいと思います。

さて、暦には太陰暦、太陽暦と言われるものがあります。太陰暦は太陰(月)を基準にした暦で新月の日が月の初め、満月は15日、満ちて欠けるまでをひと月としました。月の満ち欠けの周期は約29.5日で、29日の小の月と30日の大の月を6回ずつもうけて調整しています。しかし、1年が354日で地球の公転周期365日と約11日のずれがあり、季節は太陽の動きによりますので、月の相はほぼ同じでも月日の季節が年ごとにずれてしまいます。これを補正するため閏月を3年に1回もうけて13ヶ月とし調整したのが太陰太陽暦です。中国では暦と季節のずれを調整するため二十四節気が考案されました。太陽の高さが最も高くなる夏至、最も低い冬至を基準にしてその間を春分、秋分としました。春夏秋冬に6ずつの季節をあて二十四節気としました。春では立春、雨水、啓蟄、春分、清明、穀雨等です。この太陰太陽暦は古くメソポタミア文明時代から用いられており、日本では飛鳥時代に中国から導入され、江戸時代に日本独自の太陰太陽暦(天保暦)として改訂され長く用いられてきました。これに対して明治5年12月3日、西暦の1873年1月1日に明治6年1月1日と改め正式に太陽暦の採用を決めました。太陽暦は月の動きではなく、太陽の動きを基準としています。地球は太陽のまわりを周回していますがその周期は365.24日で1年を365日とすると4年で約一日のずれが生じ閏日をもうけて調整しています。この太陽暦は紀元前のエジプトで使われており、1582年に改良されたグレゴリオ暦が出来て世界中に普及したと言われています。漁業、農業では太陽太陰暦を参考にしており、伝統的な年中行事も旧暦で行われています。今日は旧暦では大寒にあたります。寒さ厳しき折、お体に気をつけてお過ごしくださいと思います。

◆講話

吉田 玄君



干支(えと)
今年の干支は申ですが正確には丙申(ひのえさる)です。干支は「かんし」又は「えと」と読みますが、干は十干の事で、お配りした表にある、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」がそれです。

支は十二支の事でやはり表にある、「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」がそれです。ですから十干十二支(じっかんじゅうにし)という言い方が正確です。

では干支をなぜ、「えと」と読むのかというと、まずこの世界は、木、火、土、金、水(もっかどこんすい)の五元素でできていると考え、尚且つそれを陰陽に振り分けます。陽は兄で「え」、陰は弟で「と」。陰陽で「えと」です。

所謂、陰陽五行説です。五元素に陰陽を振れば十種に分かれます。ここから、十干十二支を略して「干支(えと)」と呼ぶようになりました。

今年は丙申(ひのえさる)ですが、甲乙丙の丙はどう読んで「ひのえ」とは読めません。

飲み込みが早い方は先ほどの陰陽五行説とこの表をみてもうお察しだと思いますが、甲は木の陽(兄)で「きのえ」。乙は木の陰(弟)で「きのと」。丙は火の陽(兄)で「ひのえ」・・・、と続きます。十干で10種あります。この10種と、十二支の12種を組み合わせて行きます。S59は甲と子で甲子(きのえね)。S60は乙と丑で乙丑(きのとうし)・・・。10と12の最小公倍数は60で、60通りできます。61年目にもこの組み合わせに戻ります。これが還暦です。

ですから干支を六十干支とも言います。

つまりこの十干十二支は暦法の数学記号なのです。もともと甲・乙や子・丑などそれぞれの文字には特に意味はありません。今日、動物に当てはめたり色々言うのは歴史が生んだ後付けです。年だけでなく、月や日にもこれを当てはめましたから、日本書紀などの記述もこれをもとに年月日が確定できます。

10進法と12進法を組み合わせ、60進法まで発展させたのも天才的です。60進法はBC3000の古代バビロニア(チグリスユーフラテス川文明)まで遡ります。

そして、甲子園、辛亥革命、戊辰戦争、壬申の乱等は、この六十干支の事です。丙午(ひのえうま)の女性は男を何とか・・・は、火の兄(ひのえ)からの連想です。

甲子園球場ができた甲子の年は、大正13年。前回は昭和59年。今回は平成56年になり、我々は多分いませませんが、先ずは今年を元気に過ごしましょう。

直会



鈴木 SAA 乾杯発声

◆渡邊会長エレクトの閉会挨拶

心すすがしく新年を改めて迎えることができたと思います。今回チャンさんに加わって頂いたことで、節分行事が日本の文化を脱してグローバルイベントになっていくのではないかと期待しています。例年同様皆様とともに邪気を払って新しい気持ちで活動をしていきたいです。今年も宜しくお願い致します

*ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会：平成28年2月9日(火) 12:30 3F 錦の間
卓話 (株)GDIコミュニケーションズ代表取締役 James Hedden氏